

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会
平成13(2001)年度第2回相互協力委員会議事録

日 時：2001年7月10日(火) 午後1時～午後5時

場 所：愛知大学名古屋図書館 3F 会議室

出席者：長坂功(愛知大学)、足立祐輔(愛知学院大学)、加藤直美(愛知工業大学)、中上恵子
(愛知みずほ大学)、酒井麻里(金城学院大学)、浜野五鈴(鈴鹿医療科学大学)、小川
光男(中京大学)、蓑島智子(中部大学)、疋田幸世(中部学院大学)、石川宗臣(日本
福祉大学)、計 10 名

記 録：長坂功(愛知大学)

【協議事項】

(1) 2001年度相互協力情報交換会について

- ・ 会場、プログラム、役割分担詳細について決定。
- ・ 「オンラインリソースにおけるコンソーシアム価格での提供について」
「課内研修、情報リテラシー、ILL とドキュメントデリバリー」
- ・ 11月16日(金)南山大学図書館 12:50～17:00

6/26(火)に行われた相互協力情報交換会のワーキンググループでの打ち合わせ事項をもとに委員間で討議を行った。扱うテーマとしてはコンソーシアム価格体系のあるオンラインデータベース・電子メディアの紹介および取次業者との情報交換と、閲覧・参考・相互協力業務での実務における各担当者間の広範な意見交換を行う分科会の2本立てであり、このプログラムにつき詳細部分を検討した。なお、日時・会場については南山大学が引き受けて頂くことで快諾を得た。

業者プレゼンについては3業者程度を予定し、各々20分前後が適当であろうということとなり、発表業者については委員長校から感触を伺った後、次回委員会で決定することとなった。

もう一方の分科会については討議テーマを3点に絞り込んだ。

①課内研修 ②情報リテラシー ③ILL とドキュメントデリバリーの3つである。

テーマの表現と分科会進行については各分科会の担当メンバー間で協議し進めていくことになっている。テーマを選定していく中で電子メディアについての扱いをうまく吸収することができないため、この電子メディアに関するテーマは情報化委員会の情報交換会で取り上げてもらうことができないか委員長校から情報化委員長に感触を伺うこととした。

また当日の担当者役割分担についても調整を行った。下記のとおり。

- ・ 司会、進行、運営 (長坂)
- ・ 会計 (加藤直)
- ・ 受付 (中上、加藤直、加藤富)
- ・ 記録 (蓑島、酒井)
- ・ お茶 (加藤富)
- ・ 機材、写真 (足立、石川)
- ・ 交流会 (加藤直)

・設営、書類作成（全員） ※適宜、委員間で各役割の手伝いをする。

なお、情報交換会終了後の交流会については愛知工業大の加藤直美さんに企画をお願いした。
この参加費について領収書等は相互協力委員会で準備を行う予定。

〈当日予定タイムスケジュール〉

～12:50 会場設営、各種準備

12:30 受付(～12:50)

12:50 開始、資料配布、説明、挨拶等

13:00 「オンラインリソースにおけるコンソーシアム価格での提供について」

業者プレゼンテーション(20分×3) ※予定

質疑応答&意見交換(30分程度)

14:45 休憩(15分程度)

15:00 「課内研修、情報リテラシー、ILLとドキュメントデリバリー」

分科会開始(2時間程度)

①課内研修(酒井、中上、石川、加藤富)

②情報リテラシー(加藤直、蓑島、足立、長坂)

③ILLとドキュメントデリバリー(小川、浜野、疋田)

16:45 まとめ、各種連絡、閉会

17:00 解散、後片付け

18:00～交流会(会場詳細未定)

(2) 東海地区協議会ホームページについて

- ・担当者決定(中部大 蓑島、愛知工業大 加藤直、愛知大 長坂)
- ・相互協力委員会の原稿掲載手順については委員長校より確認
- ・情報化委員会へのHP作成に関する要望事項を取りまとめ

東海地区協議会のレンタルサーバでのサービス立ち上げが予定されているため、相互協力委員会でもホームページによる情報発信について取組んでいくこととなった。

主として相互協力委員会のページについて内容を充実させていくこととなったが、紀要の分担保存協定に関する事項については東海地区協議会のトップページからのリンクとして参加館の利用に供したいとの意見が多かった。この事項については情報化委員会に要望していくこととなっている。なお、相互協力委員会でコンテンツの充実を図っていく事項は下記のとおり。

- ・各種お知らせの充実
- ・相互協力委員会委員名簿、委員会議事録、情報交換会/研修会報告
- ・リンク集とILLフォーム/マナー集
- ・加盟館開館時間一覧、一般公開状況一覧、ライブラリーカレンダー
- ・情報交換掲示板

なお、相互協力委員会部分のホームページ原稿は委員長校に集約し情報化委員の担当者に送付する手順となる。また理事校の承認については相互協力委員長校から理事校・情報化委員長校に手順と手続きについて確認をすることとなった。これについては確認がとれ次第、各委員に連

絡をすることとなった。

また協議会サーバのホームページ公開のスケジュールを委員長から報告した。

・7月中旬より情報化委員会の担当者により、順次データ移行。私大図書館協会のページとリンク後、理事校より東海地区加盟館に文書にて URL 等を通知する予定となっている。

※<審議時間なし> (3) 相互協力事業の推進について

- ・今期扱う相互協力事業テーマ、課題の検討
- ・「レファレンス・コンソーシアムの有効性に関する実証実験」について

※<審議時間なし> (4) 2002年度実務担当者研修会について

(5) その他

・5-A 東海地区 Nacsis-ILL 参加状況について

東海地区の状況報告と参加呼びかけのアナウンス方法について意見交換
愛知工業大の加藤さんより資料配布あった。今後未参加館にどのようにアナウンスをしていくかを相互協力委員会として取組んでいきたいということになった。

・5-B メーリングリストについて

協議会サーバ上で委員会メーリングリストについて意見交換(意見集約済)
協議会サーバではメールサービスもできるが常任幹事会、各委員会や研究会でのメンバー間でのメーリングリスト設定が計画されている。この事項については各委員で意見交換を行った。いわば公認のメーリングリストということになるこのサービスについては諸般の事情を考慮し次回(12月)の常任幹事会での協議の結果を待って相互協力委員会としては対応していきたいということになった。

・5-C 相互協力便覧デザインについて

私大図協の HP 部分の原稿について意見交換(意見集約済)
愛知工業大学私大図書館協会ホームページ委員の柏本さんから依頼があったこの件に関しては、相互協力委員会としては(B案)詳細版にて回答することとなった。

・5-D 12月の相互協力委員会の会場について

中京大学豊田図書館 12月11日(火)にて行うことが予定された。

・5-E CAN コンソーシアムについて

CAN コンソーシアム趣旨説明会 7/24(火) が予定されていることが CAN 事務局の愛知学院大学の足立さんから報告があった。

※なお、次回委員会は 9/26(水)南山大学名古屋図書館を予定。この日は情報化委員会との合同委員会も予定されている。それまでに各委員間ではメール等を利用して各々の情報のやり取りを行うことで委員会を終了した。

以上